

平成25年度ホタテガイ採苗情報（第4報）

平成25年5月16日

発行：岩手県水産技術センター
協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



稚貝の付着は継続も付着数は減少

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は6.3℃と平年より3℃低めです。水深10~40mで6℃台のほかは7℃台となっています。透明度は8m（前回12m）でした。
- ラーバの出現数は、県中北部から県南部では概ね横這い~減少で推移しています。200μm以上の大型個体の割合は、県中北部および県南部で高め（36~100%）ですが、唐丹湾は低め（10%）でした。
- 試験採苗器の付着稚貝数は19~45個/袋（前回29~105個/袋）でした。唐丹湾は前回より減少しています。また、小谷島、唐丹湾とも400μm以上の大型個体はありませんでした。
- 県中南部から県南部にかけてムラサキイガイの出現数が多い状況です。唐丹湾では付着稚貝数で264個/袋、泊ではラーバ調査で663個/m²でした。
- 採苗器の投入開始時期はもう少し先と思われますが、投入できるよう準備してください。また、採苗器を早めに投入する場合は、多めに準備し複数回に分けた分散投入の実施を心がけてください。

< 宮城県の状況（5月15日発行気仙沼水試ホタテガイ採苗通報） >

- 唐桑町只越で付着稚貝数が215個/袋と増加したことから、採苗袋の投入を指示。

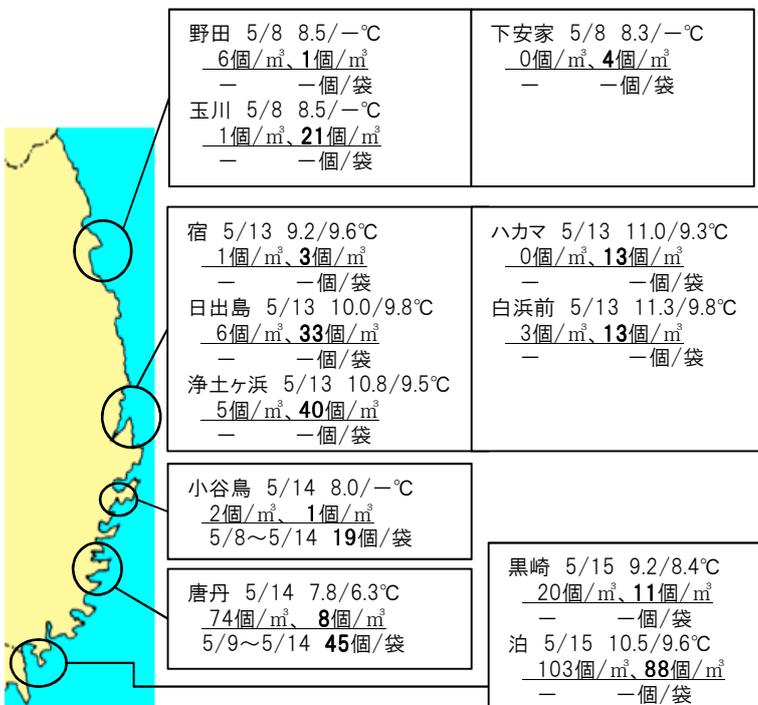


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 0m/10m層水温
ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数(個/袋)

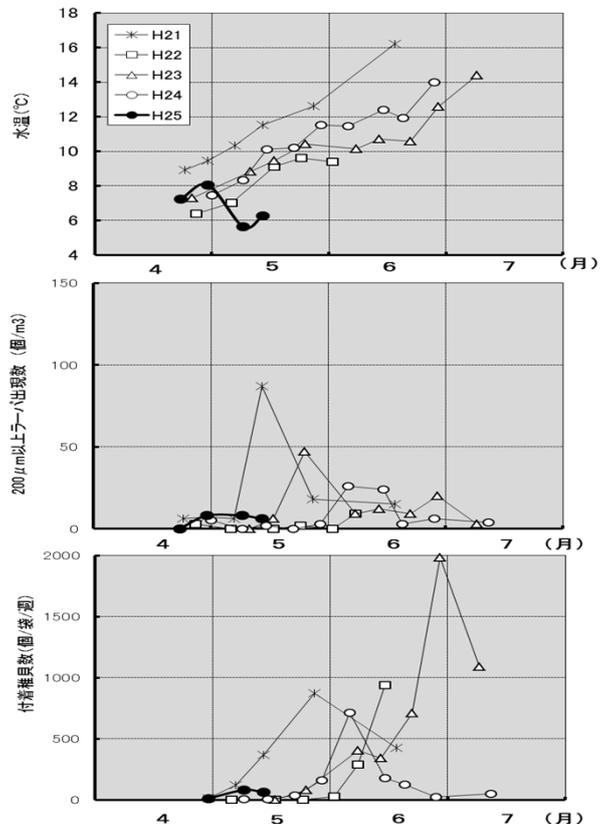


図2 唐丹湾の水深10m層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、5月22日に発行する予定です。